

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 浅川 眞里子

相談者 M 氏(男性)

希望内容

- ・対人恐怖症があり、同室者とのコミュニケーションにストレスを感じるので、個室完備の施設(グループホームきらら)へ移りたいです。自立は考えていません。
- ・夜間尿失禁があるのですが、病院受診したほうがいいでしょうか。
- ・煙草を1日10本に、ジュースも増やしてほしいです。
- ・小遣いを自己管理したいです。

処理結果

- ・今後の施設移行については、今後ご本人の意向・状態を考慮しながら検討していきます。
- ・夜間の失禁については、多飲水の影響もあり血中ナトリウムも低下しており、本人と話をし現在はコップを施設管理とし様子観察中です。夜間の対応としては、本人希望により紙パンツ・防水シートを使用していますが、寝具まで汚してしまうことが不安とのことですので、防水シートを全面タイプに変更したり、吸収量が多いおむつに変更したりする等の検討をします。
- ・煙草・ジュースの増量については、医師へも相談されていますが、病歴の関係で現状のままです。引き続き良好な状態が保てるよう支援します。
- ・自己管理については、ご本人の要望に近づけるよう、まずはご自身が使用した収支額を記入把握していただくことから始めていけるよう支援します。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 浅川 眞里子

相談者 U 氏(女性)

希望内容

- ・将来、年を取ったら老人ホームに行けるか心配です。

処理結果

・現在はすみよしで楽しく過ごしているとのことでした。老人ホームへ行けるか心配されていることについては、本人の不安に寄り添っていきます。また、今後年齢を重ねていき介護保険等適応になった時に、改めて今後の生活について話し合い、ご本人が納得いくような方向で支援していきます。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 浅川 真里子

相談者 U 氏(男性)

希望内容

- ・コーヒーの本数と食事での麺類の日を増やしてほしいです。

処理結果

・コーヒーについてはご本人の意向を聞き、週1,000円の自己管理を提案すると、納得されました。ケース検討会議を行い、問題なければ開始します。麺類の提供については、現在週一回提供していること等お伝えしたところ、冷麺・パスタは麺類との認識がないようでした。温かい麺(うどん・そば・ラーメン)を好まれているので、栄養士へも伝え、検討することをご本人へ伝えました。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 浅川 眞里子

相談者 K 氏(女性)

希望内容

- ・9月から小遣いを自己管理して、小遣い帳を自分でつけたいです。

処理結果

・金銭自己管理については入所後より希望があり、以前様々な方法で自己管理を試みましたが、上手く出来なかったため、出来ることからの支援に切り替え、気持ちを受容しながら対応しているところです。コロナ禍で外出できないストレスもあり、幻聴や被害妄想が常時見られ精神状態が不安定なので、少しでも希望に近づけるよう、まずは小遣い帳を作り、ご本人が使用した出費から記入する練習を始めていきます。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)

相談場所 施設長室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 浅川 眞里子

相談者 G 氏(女性)

希望内容

- ・コロナでストレスが溜まっています。

処理結果

・コロナウイルスが蔓延して以降、息子さんと毎月行かれていたお墓参りに行けなくなり、ストレスを感じているとのことでしたので、職員引率のもとお墓参りを8月27日に実施しました。「良かった。安心した。」と、落ち着かれていました。今後も行きたいとの希望があるので、コロナ禍の状況に応じてではありますが、できる限り実施しストレス軽減に繋がります。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 浅川 眞里子

相談者 A氏(男性)

希望内容

- ・現在の預金でどれ位使えるのか、何のためにいくら残しておかなければならないのか提示してほしいです。
- ・煙草の本数とジュースの回数を増やしてほしいです。
- ・食事の摂取カロリー(現在1800kcal)を増やしてほしいです。

処理結果

- ・今月入所され、残金が少額のため使用金について限度がある状況です。都度本人へ通帳及び手持ち金庫の確認をしていただきながら説明をしていますが、納得されていない状況です。しっかり説明することで理解をしてくださるので、月毎に収入と収支について伝え、計画的に使用できるよう支援します。
- ・改めてご本人より要望を伺い、増やすことで落ち着かれています。
- ・一か月ほど前の往診で、胸やけを訴えられており、増やさないほうが良いとの判断でした。その後の往診で再度訴えられ検討中です。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 浅川 眞里子

相談者 M 氏(女性)

希望内容

- ・周りの人についていけない気がするし、呂律が回らない時があります。また、言葉が上手く使えないことがあるので気を付けます。
- ・入院中はお菓子をよく食べていたので、また食べたいです。姉と電話ではよく会話していますが、直接会って話したいです。

処理結果

- ・言葉遣いについては、普段ゆっくり丁寧に話されていることを伝え、気にしなくても大丈夫であること、ご本人が思っているほど呂律が回っていないことはないことを話しました。水の飲み過ぎで呂律が回らなくなることも合わせて伝えました。
- ・入院中は、二度程お姉さんからお菓子や飲料を送ってもらい飲食していたとのことでした。施設内へ飲食の持ち込みができないため、茶話会や施設からのおやつ提供の機会を増やしたりし、利用者さんの希望に添えるよう支援します。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 宮川 晶子

相談者 A 氏(男性)

希望内容

- ・同室者と合わないので、居室替えをしてほしいです。
- ・同班員からグループ清掃をやめると言われて困っています。
- ・実家に帰って、一人暮らしがしたいです。

処理結果

- ・相談後、同室者とは解決しましたとの報告がありました。また、悩み等あったときにはいつでも相談するよう伝えました。
- ・普段より非常に拘りが強く、グループ清掃のリーダーになってから、些細なことで悩んでは職員へ相談に来られていました。一番頼りにしていた班員が入院のためいなくなることで更に不安となり、傾聴しアドバイスをしましたが、やはりリーダーを続ける自信がない、リーダーでなければやっていけるとのことで検討し、リーダーは退き同班で継続していくことでご本人も納得されました。引き続き本人の気持ちの変化に配慮しながら支援します。
- ・社会復帰を目指すためには、まずは施設内自立を目標にし、生活面や活動の訓練を行いながら精神的安定を保てるよう支援します。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)
相談場所 施設長室
相談受付者 後藤 洋貴
記録 浅川 真里子

相談者 O 氏(男性)

希望内容

- ・居宅訓練中は毎日入浴できるので、居宅に戻りたいです。

処理結果

・R3.4月より居宅生活訓練中であつたが、決まりが守れなかつたためR3.5.28から中止しており、その後本人との面談を重ね、8月から再開する予定であることを伝えていましたが、コロナウイルス蔓延のため延期になっています。本人へも話してはいましたが、気持ちが先走り、焦つたようです。引き続き本人の気持ちを汲み取りながら、寄り添つた支援を行います。

■なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 令和3年8月25日(水)

相談場所 面会室

相談受付者 後藤 洋貴

記録 宮川 晶子

相談者 F 氏(男性)

希望内容

- ・一人暮らしがしたいです。

処理結果

- ・これまでの背景を含め、まずは施設内自立(生活面・金銭面等)を目指すことが必要であることを話し、職員がサポートしていくことを伝えると、「よろしくお願いします。」と、納得されました。疾病等配慮しながら、引き続き自立に向けて支援します。